



2025年12月23日

乗務員無線機配線が誤って接続されていた事象について

このたび、ワンマン列車の運転士に異常が発生した際に自動的に指令へ通報する装置が動作しない状態で、列車を運行していた事象が発生しました。

なお、この事象によるお客様、乗務員にけがはありません。

ご利用のお客様には、ご心配・ご迷惑おかげしましたことをお詫び申し上げます。

1. 発生日時 12月21日（日）8時20分頃
2. 発生場所 函館線 滝川駅（滝川市栄町4丁目9番15号）
3. 関係列車 岩見沢7時23分発 滝川行き 普通列車
(737系2両編成 定員269名)
4. 概況 函館線滝川駅に到着した運転士より、乗務員無線機のマイク配線が本来と異なる箇所に接続されている旨の申告がありました。
この影響により、何らかの理由でワンマン列車の運転士が運転操作を継続できなくなったときに、異常が発生した旨を自動的に指令へ通報する装置が動作しない状態となっていました。
5. 原因 無線機搭載作業の際に、作業者が配線の接続を誤ったため
6. 対策 緊急対策として、同形式の車両（2両）の乗務員無線機の取付状況について、12月22日までに一斉点検を行い、すべて正常であることを確認しております。
7. その他
 - (1) ワンマン列車の運転士に異常が発生した際に自動的に指令へ通報する装置は、2kmを超える長さのトンネルを走行するワンマン列車に必要な装置であり、「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に定められております。
 - (2) 当該無線機は12月16日に搭載しており、その際に誤接続したことが確認できます。その後、12月21日までに4本の列車で2km以上のトンネルを通過していましたが、この間、運転士に異常が発生した事象はなく、安全上問題はありませんでした。
 - (3) 指令へ通報する装置以外、乗務員無線機は全て正常に動作していました。

8. 乗務員無線機の写真（正常な状態）



(正常な状態)

コネクタ①と②を接続し、
③を乗務員無線機に接続します。

(今回の状態)

コネクタ①が乗務員無線機に接続されており、
②と③が未接続の状態になっていました。